

ニ阿波齋部氏天富命ニ隨從シテ、コノ地ニ來リ、土民ノタメニ、麻穀ヲ播植シ、土民コレニヨリ、衣食餘リアツテ、其處ヲ得タリシカバ、阿波齋部ノ功勞德澤莫大ナルヲ、萬世遺忘スベカラザル爲ニ、安房ノ郡名ヲ取テ、直ニ國號トハ定メ玉フナリ、一説ニ、安房ハ淡ナリ、味ノ淡薄ナルヲ云、即チ淡水ノ義ニシテ、海水ノ鹹ニ、溪澗ノ流水相混和シ、之ヲ嘗ルニ、其味極テ淡薄ナルナリ、今ノ安房平群二郡ノ海濱、山澗ノ流水幾條トナク、落テ海ニ入ル、依テ此邊海水ノ味、之ヲ嘗ルニ自然淡薄ナレバ、淡國トハ名ケタリト云、又一説ニ、上古當國平群ヨリ、上總天羽ニ接スル海濱陸地ヲ距コト數里ニシテ、海面ニ屏風ヲ展タル如キ山巖聳峙環抱セリ、天皇其中間ニ於テ、舟行アリシニ、風濤聊沸起セズ、平坦宛モ湖水ノ如クナレバ、淡水門ヲ渡ト云シナルベシ、今ニ海潮退クトキハ、遙ニ礁石ノ水面ニ迸ヲ見ト、房總志料此コレ淡ヲ以テ平淡ノ義トスルナリ、或ハ古昔阿波淡等ノ文字ヲ用シカドモ、元來總ノ國ヨリ割タル國ナレバ、其訓ヲ存シテ安房ノ字ニ改メラレシナド云、諸説各一理アリトイヘドモ、古語拾遺ニ據テ郡名ヲ取リ、直ニ國號トナスノ説ヲ以テ是ニ近トスベシ、

位置

〔地勢提要〕各國經緯度 附 里程

安房洲崎村、極高三十四度五十八分半、經度東三度五十八分、從東都日本橋至永代橋沿海四十三里八町五十七間半、

〔日本經緯度實測〕北極出地

安房 勝山 三五度〇六分三〇秒略 中

東西里差

山城 京 〇度〇〇分〇〇秒略 中 安房 勝山 東四度〇四分〇〇秒

疆域

〔安房概志〕海防